

2023年3月27日

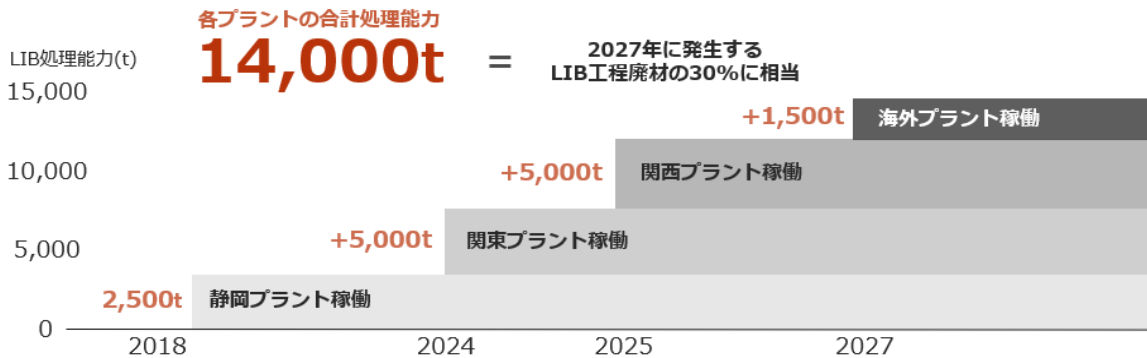
報道関係各位

株式会社エンビプロ・ホールディングス
(コード番号：5698 東証プライム)**エンビプロ HD、LIB リサイクル工場用地、建物の取得に関するお知らせ**
茨城県内に新設し、処理能力3倍を目指す

当社は、茨城県ひたちなか市にリチウムイオン電池リサイクル工場の新拠点としての土地・建物を取得しました。

1. 理由

当社連結子会社の株式会社 VOLTA(本社：静岡県富士市、代表取締役社長：今井健太、以下「VOLTA」)にて、2027年6月期までの中期経営計画目標とした14,000tのリチウムイオン電池(以下「LIB」)処理能力を達成するために、LIB 関連メーカーの工場建設が計画されている関東圏へ工場拠点を拡大します。



(2023年6月期第2四半期決算説明資料より抜粋)

2. 工場取得に係る詳細

VOLTAでは、回収したLIBからブラックマス*を製造しています。現在稼働中の工場では、LIB処理量は約1,200t、LIB処理能力は2,500t程ですが、今回の茨城工場では、処理能力が5,000t規模のブラックマス製造工場を建設するため、合算で現在比3倍の7,500tの処理能力となります。

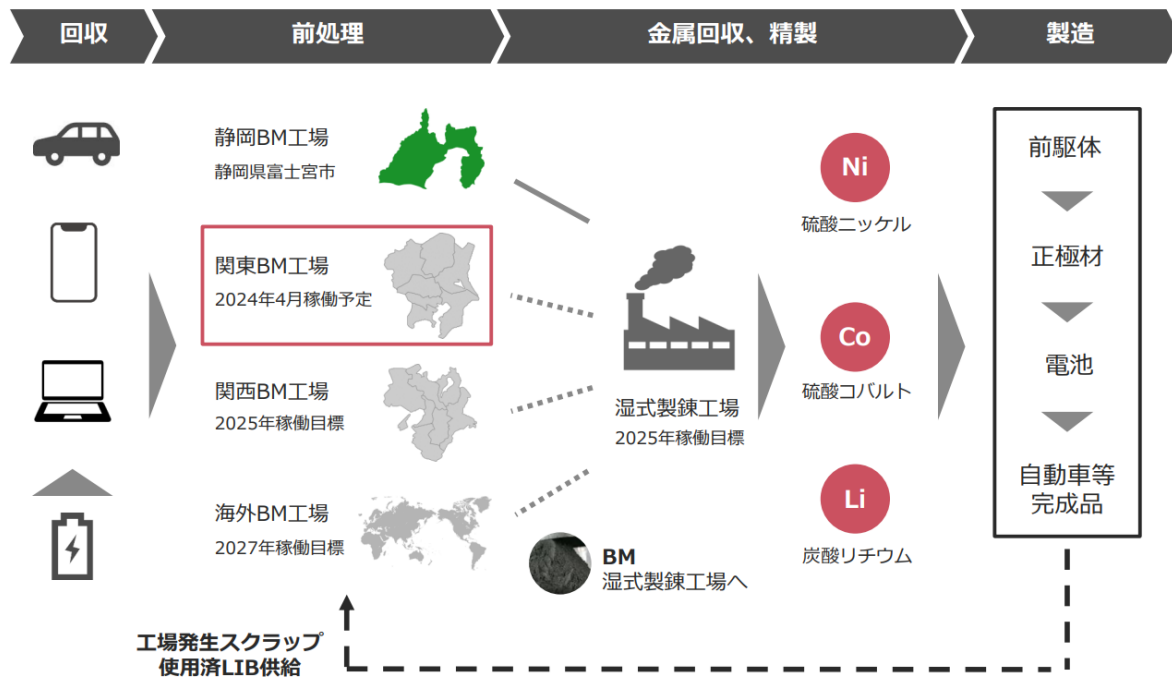
茨城工場では、廃LIB発生が見込まれる工場の工程廃材の回収を企図しています。また人口集積地の関東圏からの使用済みLIBの回収も同時に見込んでいます。

*ブラックマス(BM)：LIBを放電・乾燥・破碎・選別したリチウム・コバルト・ニッケルの濃縮滓

3. ハブ&スポーク方式による集荷、処理戦略

2022年12月2日に開示した、三菱マテリアル株式会社との湿式製錬技術に関する共同開発により、ブラックマスから具体的なレアメタル（コバルト、ニッケル、リチウム）を回収、製錬するための技術開発も進めています。この技術を確立し、2025年度までに湿式製錬工場を稼働します。

湿式製錬工場をハブとし、今後さらに国内外にブラックマス製造工場をスポークとして展開するハブ&スポーク方式による、集荷、処理体制を構築してまいります。



(2023年6月期第2四半期 決算説明資料より抜粋)

■ 4. 取得資産の内容

(1) 所在地	茨城県ひたちなか市山崎 43 番地
(2) 敷地面積	15,326 m ² (主要建物 延床面積 8,560 m ²)
(3) 現況	工場及び事務所

■ 5. 購入相手の概要

相手先は国内法人1社です。なお、相手先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はありません。

■ 6. 日程

(1) 取締役会決議日	2023年1月18日
(2) 契約締結日	2023年2月10日
(3) 所有権移転日	2023年3月27日
(4) 稼働開始時期	2024年4月(予定) ※順次設備設置予定

■ 7. 会社概要

株式会社エンビプロ・ホールディングス		
(1)	所在地	静岡県富士宮市田中町 87 番地の 1
(2)	代表者	代表取締役社長 佐野 富和
(3)	事業内容	傘下事業会社（総合リサイクル、トレーディング、障がい福祉、環境コンサルティング他）の経営管理、並びにそれに付帯する業務
(4)	資本金	15 億 2,483 万 656 円
(5)	設立	2010 年
(6)	URL	https://www.envipro.jp/

株式会社 VOLTA		
(1)	所在地	静岡県富士市大野 55- 1
(2)	代表者	代表取締役社長 今井 健太
(3)	事業内容	リチウムイオン電池やニッケル水素電池等の充電式電池のリサイクル事業
(4)	資本金	4 億円
(5)	設立	2018 年
(6)	株主	株式会社エンビプロ・ホールディングス 100%
(7)	URL	https://www.env-volta.jp/

以 上

-----<本件に関するお問い合わせ>-----

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部 広報担当 渡邊千佳

TEL : 0544-21-3161 Mail : ir@envipro.jp

(別紙)



会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
 本社 静岡県富士宮市田中町 87 番地の 1
 代表者 代表取締役社長 佐野富和
 グループ会社 連結子会社 13 社（孫会社含む）、持分法適用関連会社 2 社
 従業員数 単体 60 名（連結 498 名）※2022 年 6 月末時点

社会課題を事業機会として、廃棄物を原料に資源を開発し再生する資源循環事業等を展開。2018 年 7 月にリサイクル業界から世界初の RE100 加盟をし、2020 年 12 月にはカーボンニュートラル 2050 を宣言。

事業の全体像 グループ丸で目指すサーキュラーエコノミーの実現



資源循環事業

廃棄物や資源物のリユース・リサイクル・リマニファクチャリングを進めることで、限られた資源の有効活用と廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物から再生原材料を製造し、新たな価値を世の中に提供しています。

- 株式会社 エコネコル 
 - 株式会社 クロダリサイクル 
 - 株式会社 しんえこ 
 - 株式会社 東洋ゴムチップ 
 - 株式会社 アビツ※ 
 - 株式会社 富士エコサイクル※ 
- ※持分法適用関連会社



グローバルトレーディング事業


日本を含めた世界各地で発生する金属スクラップ・その他資源物を多国間で流通させるとともに、日本製中古車や中古車部品をはじめとする中古品をグローバル市場に展開しています。

- 株式会社 NEWSCON 
- 株式会社 3WM 
- 株式会社 サイトラス 



リチウムイオン電池リサイクル事業

リチウムイオン電池をはじめとする充電式電池のリサイクルを通して、コバルト、ニッケル、リチウムなどのレアメタルを回収することで限りある資源の有効活用にご貢献しています。電池 to 電池のクローズドループの実現を目指しています。

- 株式会社 VOLTA 





障がい福祉サービス事業



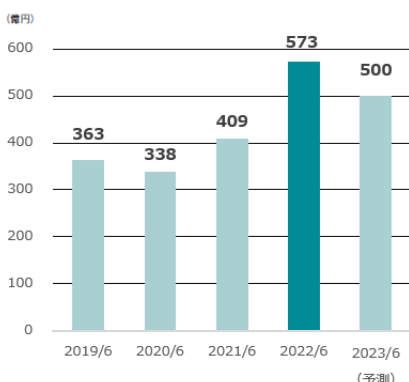
環境経営コンサルティング事業

その他事業

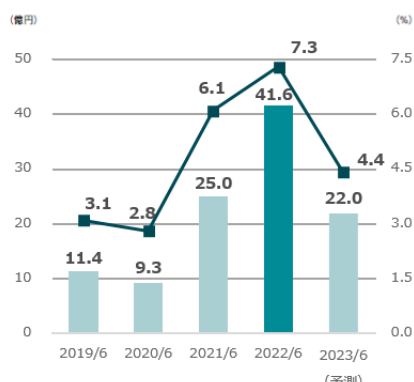
障がいのある方の就業や地域生活などにおける自立支援をサポートする「障がい福祉サービス事業」と、企業の環境戦略・GHG排出量削減計画の支援などを行う「環境経営コンサルティング事業」を展開しています。

- 障がい福祉サービス事業
- 株式会社 アストコ 
- 環境経営コンサルティング事業
- 株式会社 プライティノベーション 

● 売上高



● 経常利益・率



● セグメント別売上構成 2023年6月期 (予想)

